

「北海道の冬季の寒さに配慮した学校の換気方法」

FAQ よくある質問

	Q 質問	A 回答
Q 1	「換気扇がある場合」で、空き教室が各階にないときにはどうしたらよいか。	<p>空き教室の階、数、方向は問いません。例えば3階建てで、各階に空き教室があれば各階の空き教室を、1階にしか空き教室がないときは、その空き教室の窓を開ければよいです。開け幅については資料を参照してください。使用している普通教室と同じ方位の並びでも可です。</p> <p>ただし、1つの空き教室で学校全教室分の窓を開けると、暖房で暖めきれずに温度が下がってしまいます。空き教室がいくつかある方が望ましいです。また、空き教室がない場合は、授業を行っていない特別教室等を使ってください。</p>
Q 2	「換気扇がない場合」の窓を開ける幅の目安は、なぜ3階建て以上の1階がその他の階より小さくてよいのか。	<p>室内の暖められた空気は上昇するため、空気は上方の階の窓からは外に流れ、1階では外から室内に流れ込みます。1～3階の窓を同じ幅で開けると、冷たい外気が流れ込む量が、2階・3階よりも1階で多くなります。1階の開け幅を狭くすることで、過度に寒くなることを防ぎ、また各階での換気量を同程度にすることができます。</p>
Q 3	この換気方法は、北海道以外の学校でも適用できるのか。	<p>「A.換気扇がある場合」は、北海道外の地域でも同じようにしてよいです。</p> <p>「B.換気扇がない場合」は、北海道の冬を想定しています。窓の開け幅目安は、室内温度が外気温より20℃～30℃程度高い場合なので、内外温度差がそれより小さい地域では、補足資料を参照してください。</p>
Q 4	カーテンを閉めた場合に換気量は確保できるのか	<p>開けた窓部分とカーテンの間隔を開ける工夫が必要です。詳細版の衝立の代替としてカーテンを用いる例を参考にしてください。(付図、詳細版 P12 参照)</p> 